





岡山県三大巨石墳の一つ

こうもり塚古墳



指定区分	国指定史跡
読みかた	こうもりづかこふん
所在地	総社市上林
指定年月日	昭和43年2月15日
解説	備中国分僧寺跡と尼寺跡の間にある前方後円墳。全長約100m。後円部の横穴式石室は全長約20mに及び、家形石棺が置かれている。出土した環頭太刀は、中央から地方豪族に分与されたと考えられ、当時の支配関係を知ることができる。
アクセス方法	JR総社駅から車10分
公開状況	自由
設備	風土記の丘駐車場利用可能 駐車場  トイレ  障害者用駐車場  障害者用トイレ 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	こうもり塚古墳
よみかた	こうもりづかこふん
しょざいち (所在地)	総社市上林
していつひ (指定した日)	昭和43年2月15日
せつめい	全長(ぜんちょう)およそ20メートルの大きな石室(せきしつ)がある前方後円墳(ぜんぼうこうえんふん)です。この石室内(せきしつない)にたくさんのこうもりがいたことからこの名前(なまえ)がついたと言われてい ます。